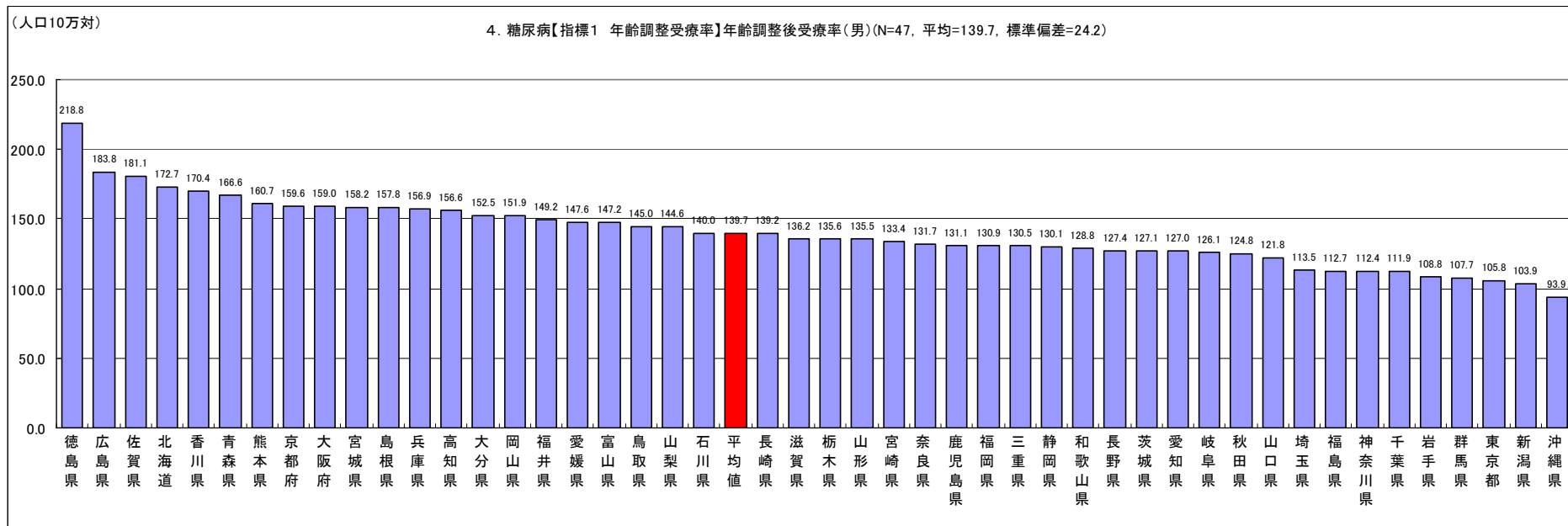


## (1) 「指標」の概要

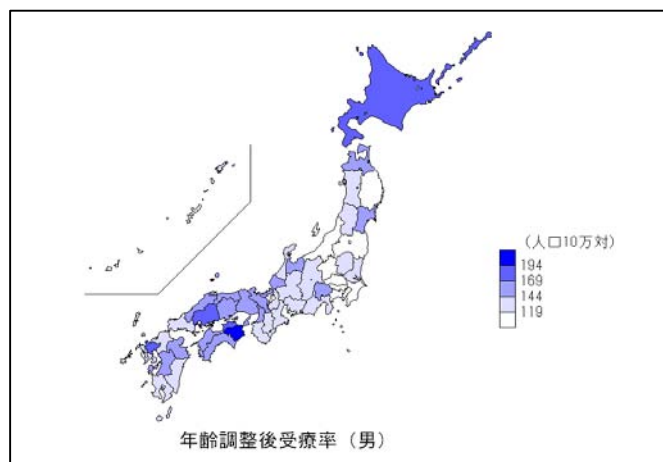
指標番号	指標名	指標の概要
1	年齢調整受療率	<p>糖尿病患者が「どのくらい多いか」を見るための指標です。</p> <p>どのくらい多いかを直接的に示す「罹患率」を全国一律に把握することが困難であるため、ここでは代替的に「受療率」を把握することとしています。</p> <p>なお、受療率は年齢構成による影響を受けるため、都道府県比較に適するように年齢調整を行います。</p>
2	基本健診受診率【脳血管疾患2と同じ】	<p>「どのくらい関心があるか」を見るための指標です。</p> <p>糖尿病予防のためには、高血糖に注意するなど生活習慣病予防対策が重要となります。一般的な基本健診では血糖値やHbA1c等を測定していることから、ここでは、糖尿病予防への関心の高さを反映する指標として、基本健診の受診率を把握します。</p> <p>多くの人が基本健診を受診することが望ましいので、本指標は高いことが望ましい指標です。</p>
3	年齢調整受療率（高血圧）【脳血管疾患4と同じ】	<p>「どのくらい健康に留意しているか」を見るための指標です。</p> <p>日常的に生活習慣の改善に取り組み、健康に留意していることは、単に高血圧や高脂血症等の生活習慣病予防、重症化予防にとどまらず、それらが進行して引き起こされる脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病などの疾病予防にもつながるといえます。</p> <p>よって、ここでは、糖尿病にならないためにどれくらい気をつけているかを測る代替指標として、「高血圧症の外来診療を受けることが高血圧の重症化予防につながる」という考え方から、外来の「年齢調整受療率（高血圧）」を把握することとします。</p>
4	医療機能情報公開率【がん5と同じ】	<p>「どこに行ったらよいか」を見るための指標です。</p> <p>病気になったときにどの病院を受診したらよいか分かるように、医療機関の情報が誰でもすぐに入手できることが求められます。ここでは、医療機関情報提供の度合いを反映した指標として、都道府県や医師会等の職能団体によってインターネット上で情報が公開されている医療機関の割合を把握します。</p> <p>本指標は高いことが望ましい指標です。</p>
5	退院患者平均在院日数	<p>「どのくらいで日常生活に戻れるか」を見るための指標です。</p> <p>本来、外来受診頻度等を把握することが望ましいのですが、受診頻度等については既存統計表では把握できないため、ここでは入院期間を反映した指標として、糖尿病患者の平均的な入院期間（日数）を把握しています。</p> <p>また、この場合、糖尿病の教育入院については除外することが望ましいのですが、患者調査のデータからは教育入院とその他の入院の区別が不可能であり、今回は教育入院も含めた全入院を把握することとしました。</p>
6	新規透析導入率	<p>「どのくらい重い合併症になるのか」を見るための指標です。</p> <p>糖尿病の合併症の一つとして腎症があります。糖尿病で高血糖状態が続き、腎臓のろ過機能が侵され、腎障害を引き起こします。糖尿病性腎症は重症化すると血液透析が必要な状態となるため、ここでは、重度の合併症の出現度合いを把握する「合併症併発率」を代替する指標として「新規透析導入率」を把握します。</p>

(2)「指標」の結果一覧

・ 糖尿病-1 年齢調整受療率



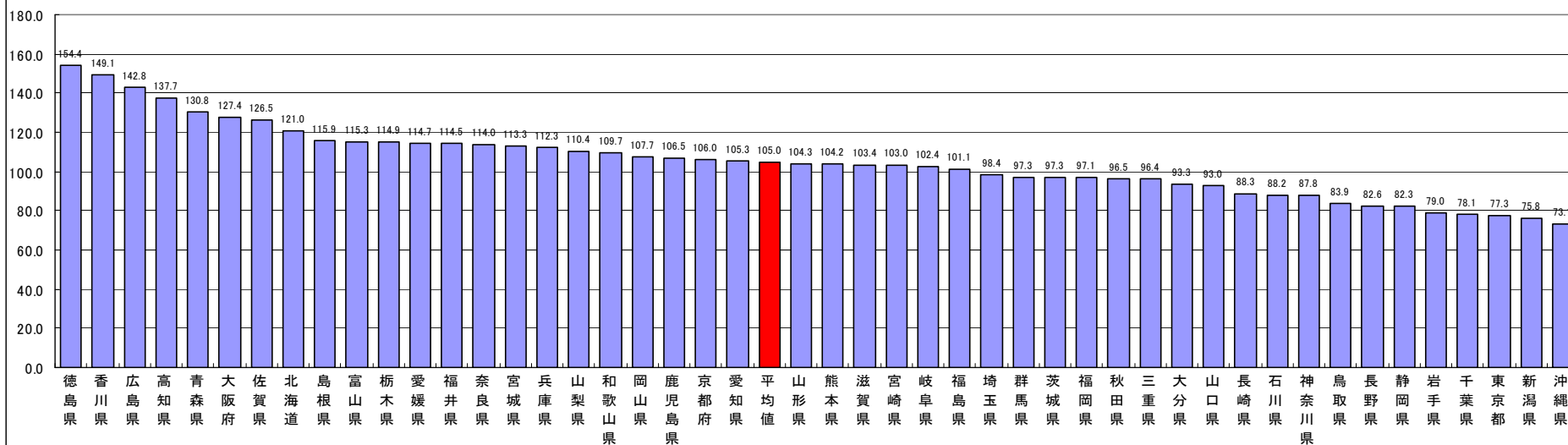
72



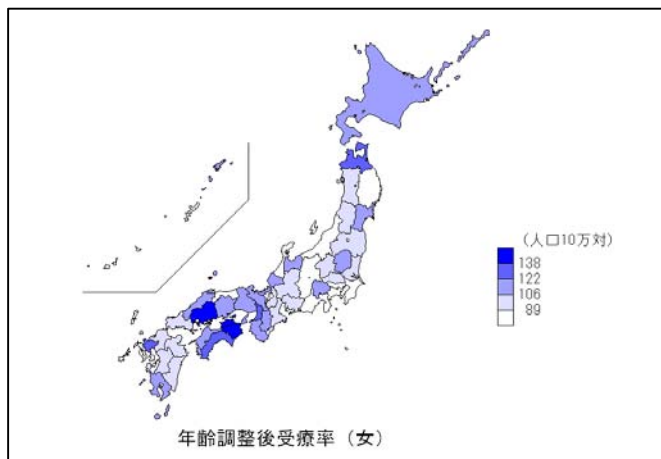
- ・ 「どのくらい多いか」を見るための指標として用いています。
- ・ 徳島県が最も高く、沖縄県が最も低い結果です。平均値は139.7、標準偏差は24.2です。
- ・ 地域的な傾向は特に見られません。

(人口10万対)

4. 糖尿病【指標1 年齢調整受療率】年齢調整後受療率(女)(N=47, 平均=105.0, 標準偏差=18.8)

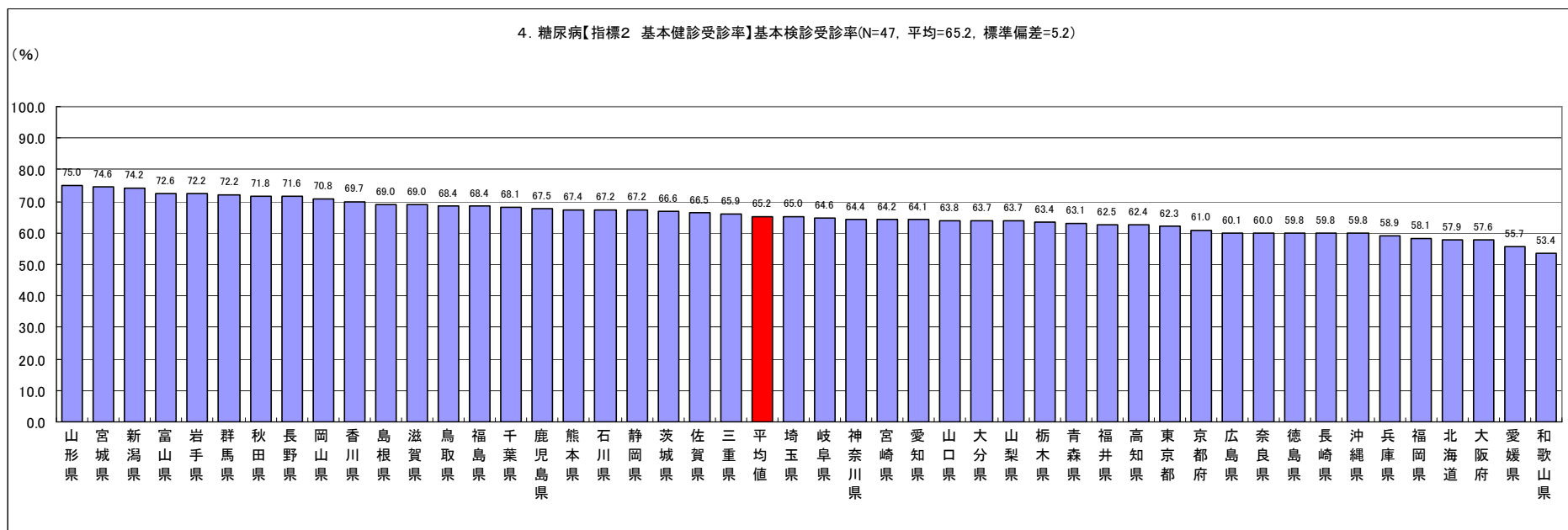


73

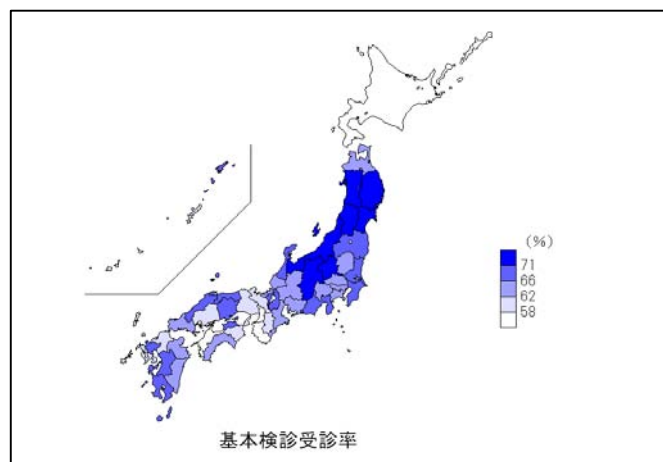


- ・ 徳島県が最も高く、沖縄県が最も低い結果です。平均値は105.0、標準偏差は18.8です。
- ・ 地域的な傾向として、四国地方が高くなっています。

・ 糖尿病-2 基本健診受診率



74

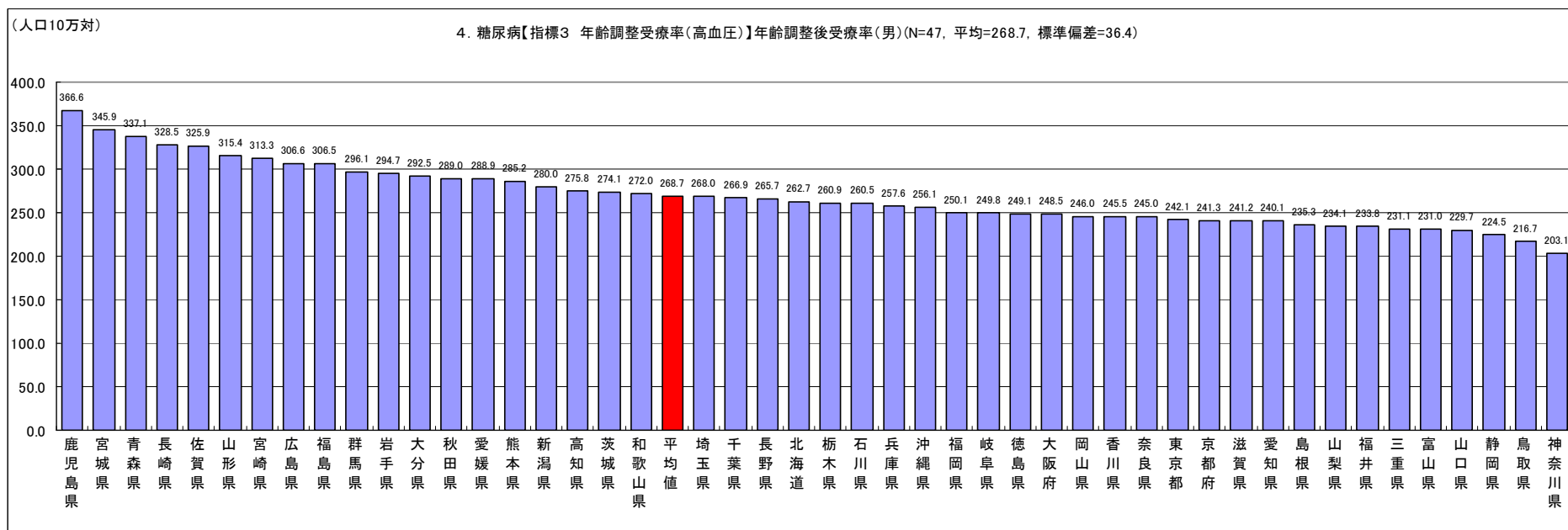


- ・ 「どのくらい関心があるか」を見るための指標として用いています。
- ・ 山形県が最も高く、和歌山県が最も低い結果です。平均値は65.2、標準偏差は5.2です。
- ・ 地域的な傾向として、中部地方から東北地方にかけて高くなっています。

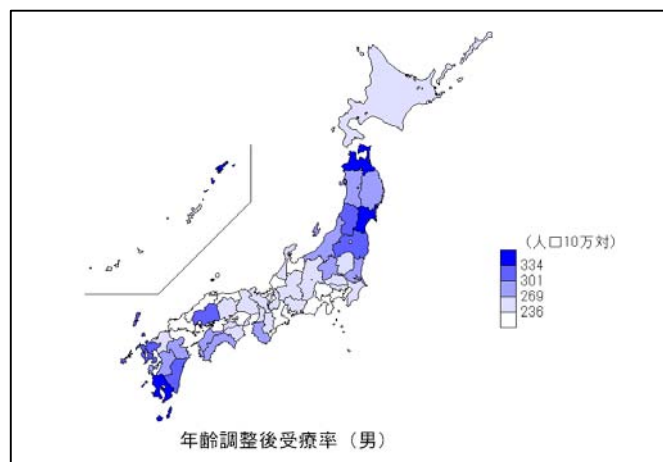
■都道府県からの意見■

- ・ 健診受診者が、糖尿病を理解し、その予防のために受診しているとは限らないのではないかと。

・ 糖尿病-3 年齢調整受療率（高血圧）



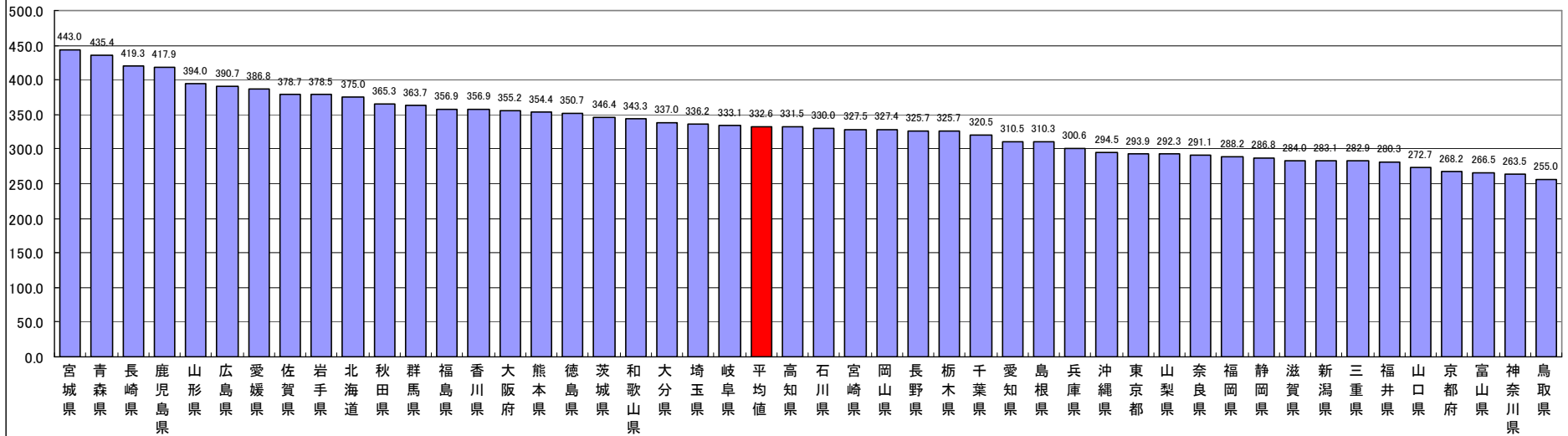
75



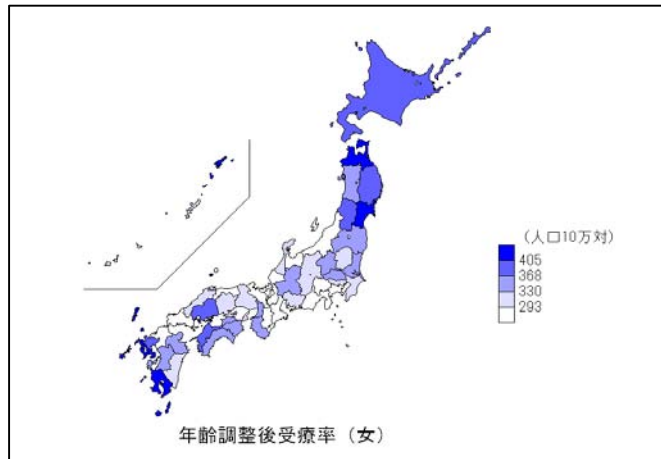
- ・ 「どのくらい健康に留意しているか」を見るための指標として用いています。
- ・ 鹿児島県が最も高く、神奈川県が最も低い結果です。平均値は 268.7、標準偏差は 36.4 です。
- ・ 地域的な傾向として東北、九州地方が高くなっています。

(人口10万対)

4. 糖尿病【指標3 年齢調整受療率(高血圧)】年齢調整後受療率(女)(N=47, 平均=332.6, 標準偏差=47.6)



76

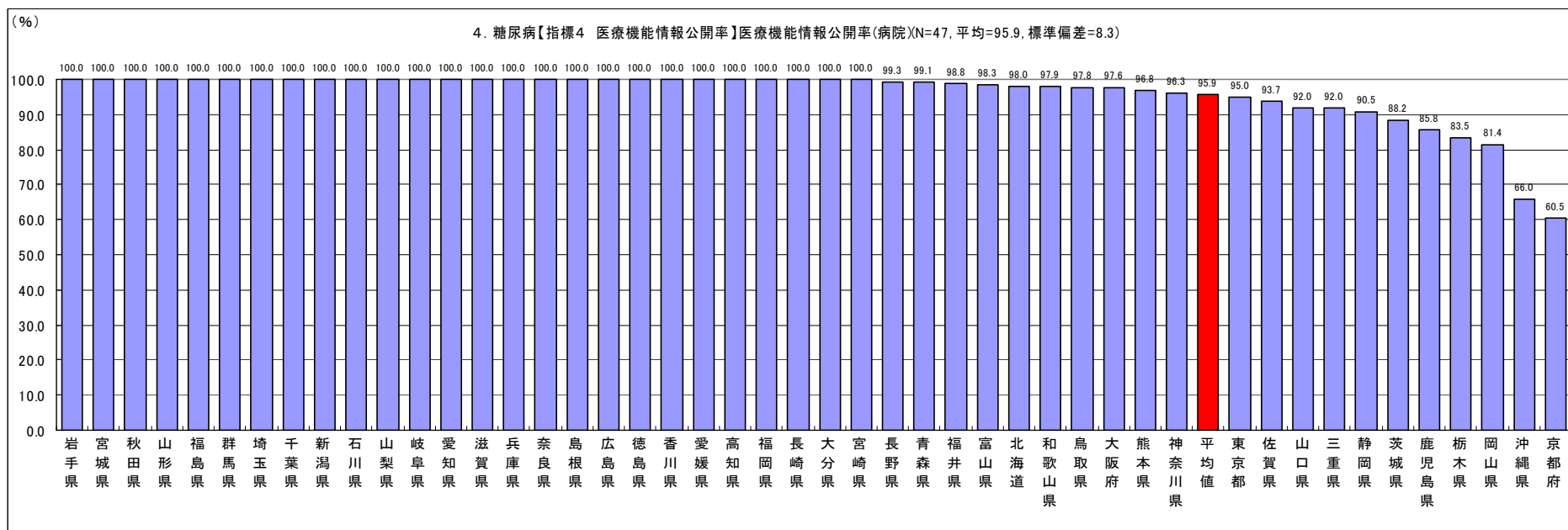


- ・ 宮城県が最も高く、鳥取県が最も低い結果です。平均値は 332.6、標準偏差は 47.6 です。
- ・ 地域的な傾向は特に見られません。

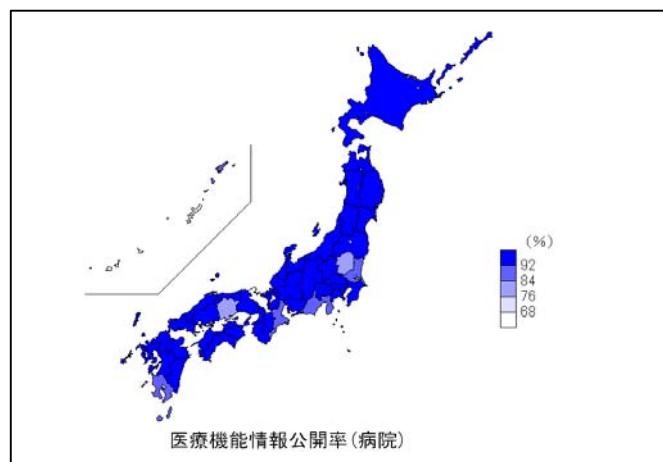
■都道府県からの意見■

- ・ 糖尿病受療者が健康に留意しているとは限らないのではないか。糖尿病疾患が多い地域ほど評価されることにならないか。

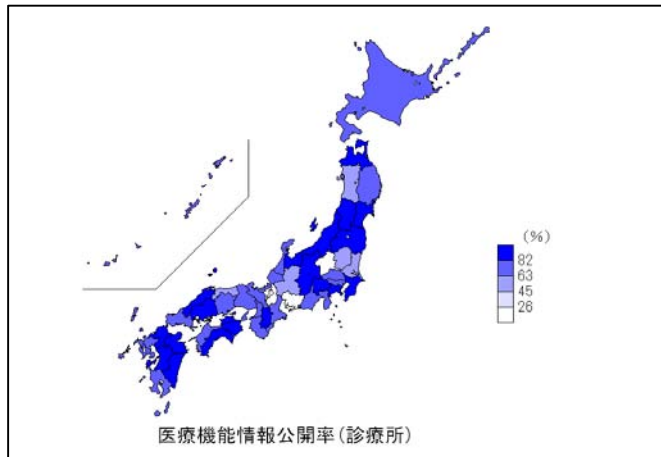
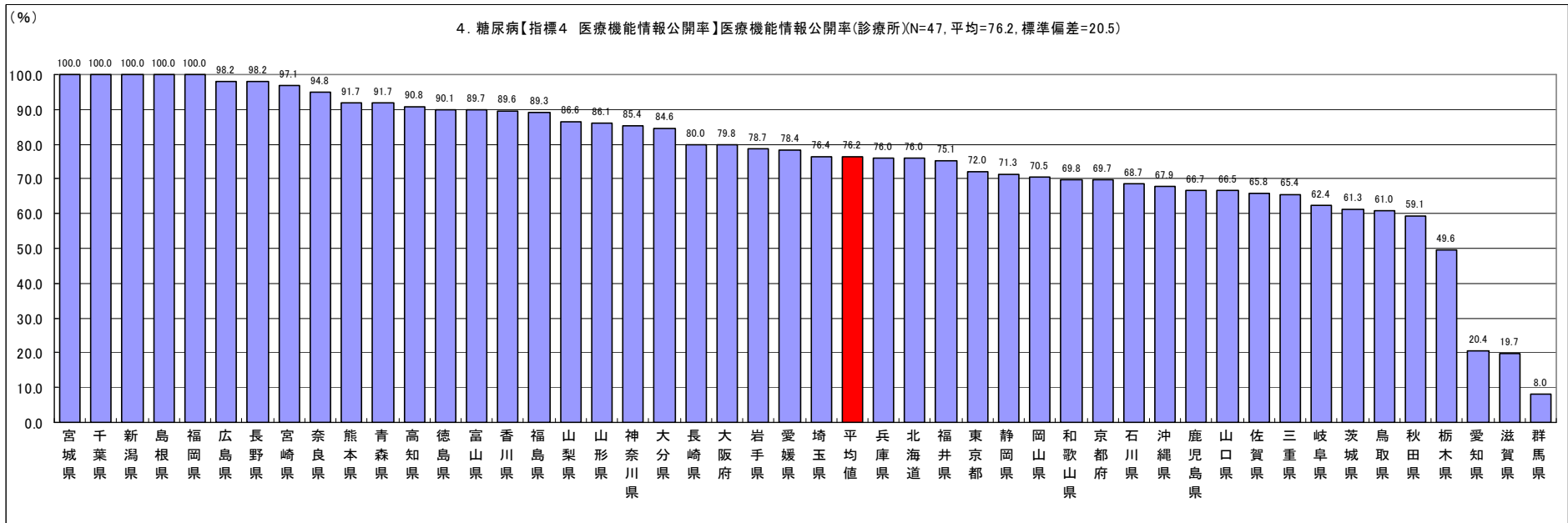
• 糖尿病-4 医療機能情報公開率



77



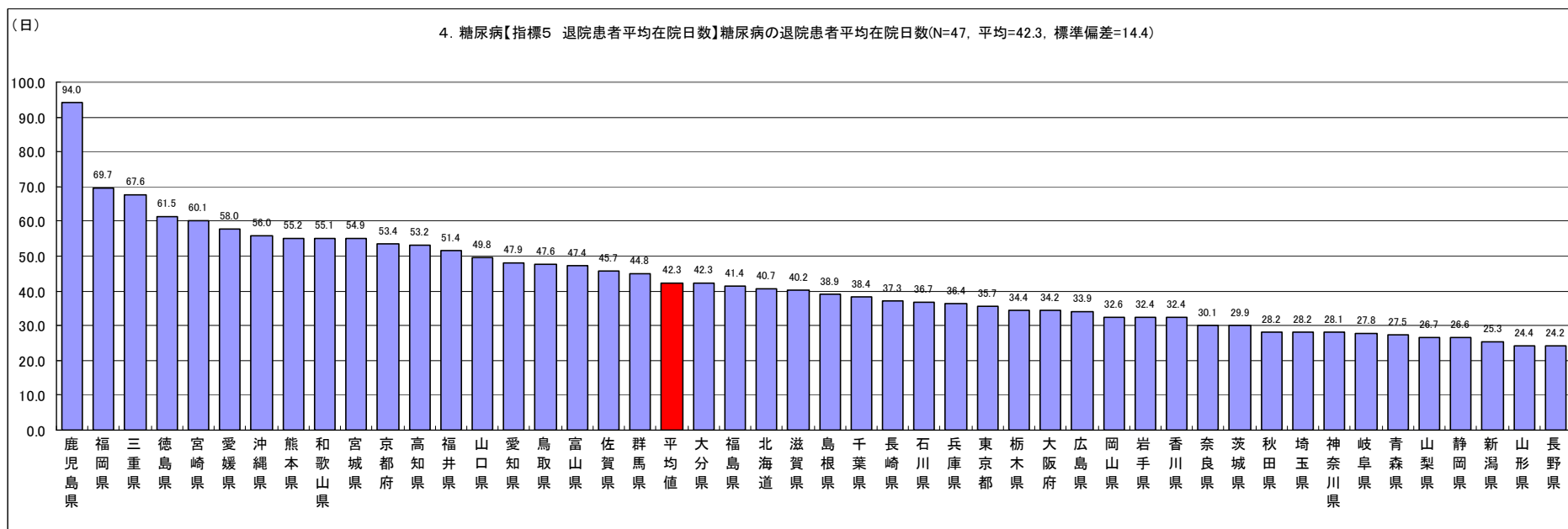
- 「どこに行ったらよいか」を見るための指標として用いています。
- 指標の結果は「がん - 5」「脳卒中 - 4」「急性心筋梗塞 - 4」「救急医療 - 5」「災害医療 - 3」「へき地医療 - 6」「周産期医療 - 6」「小児医療 - 4」と同様です。



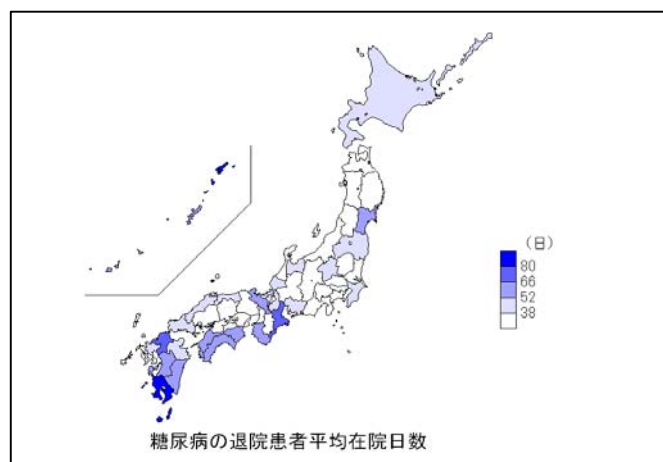
- 指標の結果は「がん - 5」「脳卒中 - 4」「急性心筋梗塞 - 4」「救急医療 - 5」「災害医療 - 3」「へき地医療 - 6」「周産期医療 - 6」「小児医療 - 4」と同様です。



・ 糖尿病-5 退院患者平均在院日数



79

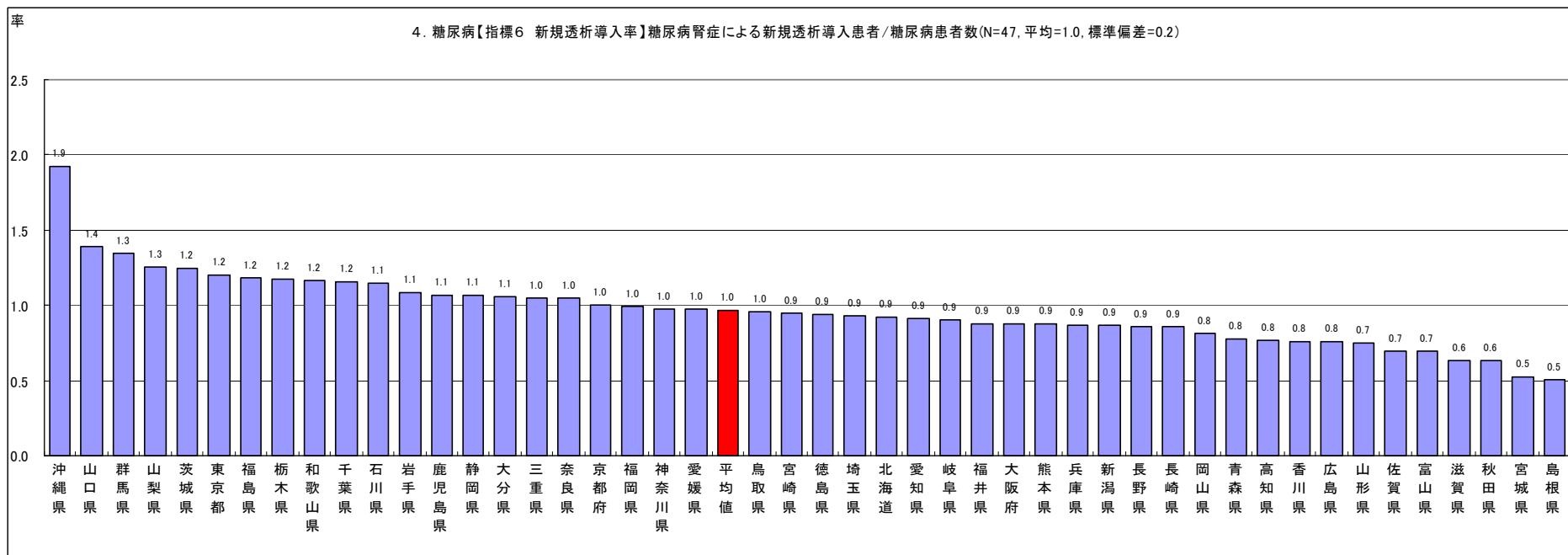


- ・ 「どのくらいで日常生活に戻れるか」を見るための指標として用いています。
- ・ 鹿児島県が最も高く、長野県が最も低い結果です。平均値は 42.3、標準偏差は 14.4 です。
- ・ 地域的な傾向は特に見られません。

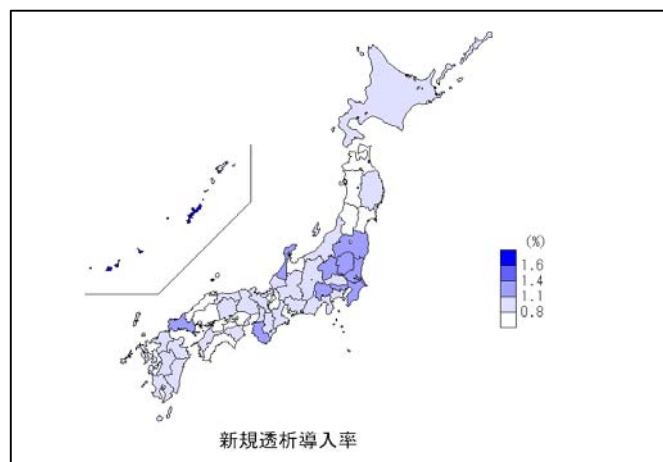
■都道府県からの意見■

- ・ 「死亡による退院」の割合が多いと、「どれくらいで日常生活に戻れるのか」をみる指標とはならないのではないか。

• 糖尿病-6 新規透析導入率



80



- 「どのくらい重い合併症になるのか」を見るための指標として用いています。
- 沖縄県が最も高く、島根県が最も低い結果です。平均値は 1.0、標準偏差は 0.2 です。
- 地域的な傾向として、関東、中部、近畿、九州地方で導入率が高くなっています。
- データの出典は日本透析医学会による調査です。

### (3) 「指標」の定義および算出方法

#### 指標 1：年齢調整受療率

##### ◆ 定義

傷病大分類「糖尿病」の都道府県別受療率（年齢調整）

患者調査の「糖尿病」の都道府県別受療率を標準人口で補正した値とします。標準人口には昭和60年のモデル人口を使用します。

##### ◆ データの出典

データ	調査名	年次	集計表	備考
「糖尿病」の都道府県別受療率	患者調査	平成 14 年度	3 閲覧第 115 表（その 1） 受療率（人口 10 万対）、性・年齢階級×傷病大分類×入院－外来・都道府県別（総数）	

#### 指標 2：基本健診受診率【脳血管疾患 2 と同じ】

##### ◆ 定義

健診受診者数／世帯人員数

分子は、国民生活基礎調査で把握される、過去 1 年間に健康診断を受けた 40 歳～74 歳の者の数とします。

分母は、同調査の世帯人員数（40 歳～74 歳）とします。

##### ◆ データの出典

データ	調査名	年次	集計表	備考
健診受診者数、世帯人員数	国民生活基礎調査	平成 16 年度	3 健康票第 4 巻第 1 2 表 世帯人員数（20 歳以上）、健診等の受診の有－受診機会（複数回答）－無・性・年齢（5 歳階級）・都道府県－14 大都市（再掲）別	

### 指標 3 : 年齢調整受療率 (高血圧) 【脳血管疾患 4 と同じ】

#### ◆ 定義

傷病大分類「高血圧性疾患」の都道府県別受療率 (年齢調整)

患者調査の「高血圧性疾患」の都道府県別外来受療率を標準人口で補正した値とします。標準人口には昭和 60 年のモデル人口を使用します。

#### ◆ データの出典

データ	調査名	年次	集計表	備考
「高血圧性疾患」の都道府県別受療率	患者調査	平成 14 年度	3 閲覧第 1 1 5 表(その 3) 受療率(人口 1 0 万対), 性・年齢階級×傷病大分類×入院一外来・都道府県別 (外来)	

### 指標 4 : 医療機能情報公開率 【がん 5 と同じ】

#### ◆ 定義

- ・インターネット上で情報提供している病院数 / 全病院数
- ・インターネット上で情報提供している診療所数 / 全診療所数

分母は、都道府県で管理している医療機関情報提供サイト、もしくは都道府県サイトからリンクしている医師会等の職能団体のサイト等に医療機関情報が掲載されている医療機関数 (医療機関名、診療科目および連絡先について示されているもの) とします。

分母の医療機関数は、分子と時点を同一にした、都道府県内の全医療機関数とします。病院、診療所それぞれについて把握します。

#### ◆ データの出典

- ・既存の統計では整備されていないデータのため、上記の定義に従い都道府県で新たに調査・集計をしました。

#### ◆ 医療機能情報公表制度の利用

- ・医療機能情報公表制度において、都道府県が医療機関から報告のあった情報を整理し公表の対象として、病院・診療所のホームページアドレスがありますので、これを利用することができます。

## 指標 5 : 退院患者平均在院日数

### ◆ 定義

傷病大分類「糖尿病」の平均在院日数

患者調査の「糖尿病の退院患者平均在院日数」とします。

### ◆ データの出典

データ	調査名	年次	集計表	備考
糖尿病による平均在院日数	患者調査	平成 14 年度	3 閲覧第 1 4 3 表 病院の退院患者平均在院日数 (施設所在地), 二次医療圏 × 傷病分類別	

## 指標 6 : 新規透析導入率

### ◆ 定義

糖尿病性腎症による新規透析導入患者 / 対象人口

分子は、日本透析医学会の調査データから把握される、糖尿病性腎症による新規透析導入患者数とします。日本透析医学会の調査データの都道府県別集計結果を活用します。

分母は平成 17 年 3 月 31 日時点の住民基本台帳人口を用います。

### ◆ データの出典

日本透析医学会調査